

臨床心理士について

- 臨床心理士とは、臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間の“こころ”の問題にアプローチする“心の専門家”である。公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会（昭和 63 年設立。以下、「認定協会」という。）が資格認定を行っている。
- 試験は、筆記（マークシート及び論文）による一次試験と面接による二次試験により実施される。受験資格は以下のとおり。また、5 年ごとの資格更新制度が定められている。
- ① 指定大学院（1 種・2 種）を修了し、所定の条件を充足している者
 - ※ 一定の要件（教員組織、カリキュラム、臨床心理実習施設など）を備えている大学院を認定協会が指定大学院として指定している。1 種大学院を修了すれば受験資格を得られるが、2 種大学院の修了者は大学院修了後 1 年の実務経験が必要。平成 28 年 7 月 1 日時点で、165 校（1 種 155 校、2 種 10 校）が指定を受けている。
 - ② 臨床心理士養成に関する専門職大学院を修了した者
 - ※ 専門職大学院は、高度専門職業人の養成に目的を特化した課程で、文部科学省が認可する。臨床心理分野は、6 校が認可されている（平成 28 年 7 月 1 日時点）。
 - ③ 諸外国で指定大学院と同等以上の教育歴があり、修了後の日本国内における心理臨床経験 2 年以上を有する者
 - ④ 医師免許取得者で、取得後、心理臨床経験 2 年以上を有する者 等
- 過去 5 年の受験者数等について ※括弧内は医師免許取得者数
毎年 1,600～1,700 人程度が新たに合格している。

年度	受験者数	合格者数	合格率(%)	累計合格者数
平成 23 年	2,740	1,661 (9)	60.6	24,666 (502)
平成 24 年	2,812	1,663 (10)	59.1	26,329 (512)
平成 25 年	2,804	1,751 (24)	62.4	28,080 (536)
平成 26 年	2,664	1,610 (12)	60.4	29,690 (548)
平成 27 年	2,590	1,601 (25)	61.8	31,291 (573)

※ 本資料は、認定協会のウェブサイト等を参考に概要を整理したものである。